＊2017年5月（第2版）（新記載要領に基づく改訂）　　届出番号：13B1X00005000201
2013年1月10日（新様式第1版）

機械器具 68 印象採得又は咬合採得用器具
一般医療機器　歯科用咬合器　JMDN:10201000

デナー マーク　３２０

【形状・構造及び原理等】

１．外観写真

２．仕様
寸法：W197mm×D199.5mm×H131mm(突起部は含まず)
調節可能範囲：
Protrusive Condylar Inclination　0-60°
Progressive Side Shift　15°固定
Immediate Side Shift　固定

３．原材料
本体：アルミニウム、快削鋼、ステンレス鋼、
アセタール樹脂
マウンティングプレート：酢酸繊維素樹脂、快削鋼

４．原理
生体の顎関節窩に相当する顆路指導部を持つ上弓と下顎頭に相当する顆路球を持つ下弓からなる構造で、人の下顎運動の一部を模擬する。

【使用目的又は効果】
予め記録した顎間関係に従って上顎及び下顎模型を取り付け、下顎運動の一部をシミュレートする。

【使用方法等】
セントリックラッチの操作
咬合器が閉じている時、ラッチを押し下げると上弓、下弓が結合される。ラッチを押し上げると結合が解除される。
サポートピンの操作
サポートピンは、咬合器の上弓を完全に開いた時に上弓を支える。サポートピンを立て、ロックピンを咬合器の上弓を正面から見て右に動かすとサポートピンが固定される。ロックピンを左に動かすとサポートピンの固定は解除される。
Protrusive Condylar Inclinationの調節
Protrusive condylar pathの傾斜角はProtrusive調節ネジを緩めることで0°から60°の範囲で調節する。ネジを締めて角度を固定する。
マウンティングプレートの装着
マウンティングプレートの2ヶ所の突起を取付け部の溝に合わせて咬合器に密着させる。マウンティングプレートは、咬合器本体に埋め込まれた磁石の磁力で本体に付着する。
模型の取り付けには次の記録が必要である。
・Facebowの記録
・Lateral bite record
・Centric relation bite record
・Protrusive bite record

【使用上の注意】＊＊
①石膏から出る湿気とアルカリ成分が咬合器の表面に損傷を与えることがあるので、模型を取り付けた咬合器をキャリングケース、段ボール箱等に入れる場合は、丸1日経過してから入れること。

【保管方法及び有効期間等】
（保管方法）
①本品は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管、管理すること。
②清潔な乾燥した、石膏やカーボランダムの粒子が付着しない場所に保管すること。
③酸、アルカリ、腐食性薬剤から離して保管すること。

【保守・点検に係わる事項】
（清掃）
①弱性石鹸を溶かした水で付着したワックスを溶かし、カーボランダムの粒子を洗い流す。
②乾燥させてから注油する。
③強力な洗浄剤、アルカリ、ガソリンやナフサを洗浄に用いないこと。

（校正）
咬合器の校正には専用のゲージが必要である。ゲージが無い場合は業者に校正を依頼する。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】
製造販売元：株式会社ヨシダ
住　　所：〒110-8507
東京都台東区上野7-6-9

お問い合わせ先
器材部
電話番号：03-3845-2931
ＦＡＸ番号：03-3841-8204

製造元：ウィップミックス社（国名：アメリカ合衆国）
Whip Mix Corporation